

総会・研修会報告

第29回日本白鳥の会研修会

第29回日本白鳥の会研修会は、2005年2月12日(土)に長野県豊科町(この29号が発行されるころには、合併により「安曇野市」になっている)、犀川近くにある「ビレッジ安曇野」で行われました。なお、今回の研修会・総会の開催に当たっては、豊科町の絶大なる後援をいただきました。

午後の研修会では、開催に先立ち故・松井繁名誉会長(2004年9月26日で逝去)に黙祷をささげました。藤巻会長の挨拶の後、村上広志町長(代理)のご祝辞をいただき、続いて以下の基調講演・研究発表が行われました。今回の基調講演は、地元で長年野生動物の救護にたずさわってこられた望月明義獣医師の経験を土台とした興味ある話でした。

望月明義(長野県豊科町): 基調講演・白鳥の病院奮闘記

神谷 要(鳥取県米子市): フライウェー湿地間の交流について

荒尾 稔(東京都文京区): 日本の白鳥群の餌付けによる影響と変動
そして今後、餌付けをどの様に位置づけるか

星子廉彰(北海道当別町): オオハクチョウの国内での繁殖
マガン、コハクチョウとモモイロペリカン
赤狐、赤犬に対するマガンの行動
大型水鳥の鉛中毒症

佐々木保治(長野県豊科町): 犀川ダム白鳥飛来20年の歩み

この後、質疑応答が行われました。

研究発表を終えたあと、宿舎近くの広場で開催されていた氷まつりを見学し、それから同じ宿舎での懇親会・自由交流・懇談会となりました。懇親会では、皆さんがカラオケで歌をうたいましたが、これは多分研修会としては初めてのことでないでしょうか。懇親会の後は、深夜まで自由交流会が続いたようでした。

第33回日本白鳥の会総会

第33回日本白鳥の会総会は、研修会の翌日2月13日(日)に研修会と同じ「ビレッジ安曇野」で行われました。

会長挨拶の後、菊池昶史さんを議長に選出し、議事次第にしたがって、まず平成15年度収支決算報告、平成16年度収支決算中間報告、平成16年度事業報告が行われました。平成15年度決算については、星子監事から適正に執行されているむねの報告がありました。続いて平成17年度の予算案と事業計画について審議され、決算、予算とも承認されました。

今回は役員改選の年ではありませんでしたが、昨年宮城県から理事を選出することになっていた件について、人選が進んだこと、またホームページの充実など情報関係を担当していただくため、新たに荒尾稔さん(東京都)、三浦研一(宮城県)さんを理事に選出しました。

次期研修会・総会の開催地は、青森県浅虫のハクチョウ渡来地に決まりました。その次の候補地として、北海道厚岸町、新潟県の佐潟、千葉県本埜村が挙げられましたが、これらの地域からの出席者が参加していなかったこともあり、今後役員が現地と連絡をとりながら調整することになりました。また、研修会開催地の選定基準として会員のいる地域が中心になってきたため、餌付けされている場所が選ばれることが多くなりますが、ハクチョウ類が自然の状態で生息しているような場所を選んでもよいのではなか、という意見も出されました。

総会終了後は、宿舎前で記念撮影をし、豊科町のバスで現地視察に向いました。まず最初は犀川ダム(通称犀川。白鳥湖)でした。ダムとはいっても今年の台風のさいにダム湖の大部分が礫で埋まり、流れの速い川となっていました。それでもかなりの数のハクチョウがいました。この後、宿舎に戻って昼食をとり、2番目の穂高町の水田に向かいました。ここは水田で、水を張ってあるため、多くのハクチョウが休んでいました。3番目は明科町御宝田遊水地で、犀川の一部です。3か所の渡来地を見学した後、14時ころに解散となりました。幸いなことに2日ともよい天気恵まれ、暖かくよい現地研修ができました。長野県ということで、雪が積もっていると思っていたのですが、この地域は降ってもすぐ融けるようで、積雪もありませんでした。



平成15年度決算報告

収入			
項目	予算額	決算額	備考
会費	772,000	420,000	会費
会費外収入	20,000	99,000	寄付、会誌販売
前年度繰越金	722,782	722,782	
計	1,514,782	1,241,872	

支出			
項目	予算額	決算額	備考
印刷事務費	200,000	215,460	会誌印刷
運賃通信費	109,100	91,770	事務連絡、定点等
消耗品費	10,000	3,882	封筒等
負担金	100,000	100,000	国際湿地保全連合 日本委員会15年度
会議費	50,000	3,803	浜頓別研修費負担
振込み手数料	0	2,705	振込み手数料
予備費	1,045,682	84,000	H P 制作費
計	1,514,782	501,620	

1,241,872(収入)－501,620(支出)=740,252(平成16年度繰越金)

平成15年度会計監査報告

会計監査の結果、正に相違ないことを認めます。

監事 山崎 安紀 ㊟

星子 廉彰 ㊟

平成16年度事業報告

平成16年4月25日 ハクチョウニュース第22号発行：平成15年度第32回日本白鳥の会総会報告、第28回日本白鳥の会総会潮来研修会報告、高病原性鳥インフルエンザ、猪苗代湖でコハクチョウ営巣など。

5月23日 日本白鳥の会ホームページ更新。

11月1日 会誌「日本の白鳥」第28号発行。

11月29日 定時定点調査票を調査協力者に配布。

12月13日 第33回総会、第29回研修会長野県豊科町犀川大会案内送付。

12月17日 日本白鳥の会ホームページ更新。

平成17年1月31日 日本白鳥の会ホームページ更新。

2月12～13日 平成16年度第33回日本白鳥の会総会、第29回研修会を長野県豊科町で開催。

研修会参加者**会員**

足立朋子、荒尾稔、漆島安夫、大川節夫、大津栄二、角田分、神谷要、川口雅登、菊池昶史、小西敢、斉藤正宏、堺博、堺岳人、堺紀人、佐久間拓城、佐々木保治、笹原明、佐藤等、鹿肝孝憲、清水三喜男、瀬戸口初男、谷岡隆、遠山敏子、西田恒子、根津京子、花積三千人、肥田嘉昭、藤巻裕蔵、古川博、古川大成、星子廉彰、松木勝彦、三浦研一、村本正治、村本禎子、山本均、横川栄仁、吉岡一成、吉岡美佐子、吉岡弘道。

地元関係者

会田仁、麻生郁夫、牛山広子、牛山茂、奥原良昌、曾根原洋一、高橋保雄、原とみ子、堀内袈佐実、村上宏志、望月明義、山崎健司、米倉亨。